

2018年度研究プロジェクト題目一覧

	学生番号	氏名	題目	分野	指導教員
1	2015HA004	安間 郁	皮肉について	言語学	青柳
2	2015HA035	稲山 月菜	日本語天候動詞の非対格性について	言語学	青柳
3	2015HA063	LIU Ben	中国語における余剰否定現象について	言語学	青柳
4	【氏名非公開】		自他交替する漢語動詞に関する考察	言語学	青柳
5	2015HA094	野原 夏希	授受動詞クレルについて―(恩恵性)、視点に関する一考察―	言語学	青柳
6	【氏名非公開】		熊本方言の格配列について	言語学	青柳
7	2015HA164	山内 香奈	名詞化接尾辞ミの生産性についての検討	言語学	青柳
8	2013HA074	満岡 純弥	アフリカにおけるモノエクスポート経済に関する一考察～その歴史と今後に向けた取り組み～	文化人類学	石原
9	2014HA070	古賀 直也	インターネット・ゲーム依存症に関する生活の変遷	文化人類学	石原
10	2015HA044	上甲 祐大	日本社会に生きる在住トルコ人の生存戦略-食生活を中心に-	文化人類学	石原
11	2015HA077	森下 佳帆子	日本におけるラクソスの普及に向けた取り組みに関する一考察	文化人類学	石原
12	2015HA084	中川 稜介	アフリカにおけるユニバーサルヘルズケア(UHC)の取り組み	文化人類学	石原
13	2015HA086	中村 祐太	アフリカにおける精霊憑依についての人類学的考察	文化人類学	石原
14	2015HA142	寺田 菜理	日本の「移民問題」の再検討～多文化共生社会は実現できるか～	文化人類学	石原
15	2015HA014	藤瀬 朱音	クラシック音楽のこれからを考える	考古学	大塚
16	2015HA018	後藤 彩華	愛知県の山車祭り―山車文化の保存と活用を考える―	文化史	大塚
17	【氏名非公開】		紙の書籍と電子書籍―それぞれの役割と特徴から考える可能性―	考古学	大塚
18	2015HA050	神谷 紗衣	なぜ人はアイドルに惹かれるのか? -AKB48から考える-	文化人類学	大塚
19	2015HA065	前田 昂輝	歌詞に見る価値観～フォークソングを中心として～	文化人類学	大塚
20	2015HA071	三浦 優衣	日本人の起源	考古学	大塚
21	2015HA072	宮地 絢子	イルカと人間の関係～日本と海外の意識の違いを考える～	人類文化学	大塚
22	2015HA074	宮本 怜奈	日本文化 としての和菓子―味覚の観点から考察する―	文化人類学	大塚
23	2015HA075	宮下 夕芽	新選組をみる視点	歴史学	大塚
24	2015HA076	宮崎 菜摘	近世における旅文化～旅の興隆と女性の旅～	文化史	大塚
25	2015HA087	仲田 汐里	土偶の魅力とはなにか―研究対象としての土偶と縄文ブームにおける土偶―	考古学	大塚
26	2015HA097	大橋 勇哉	趣味におけるオートバイの楽しさに関する研究～ツーリングをもとに～	文化人類学	大塚
27	2015HA105	齋藤 祐里	そば文化と必要性～江戸から現代へ～	文化人類学	大塚
28	2015HA107	酒向 祐希	東海道と宿場の活用―街道観光の可能性を考える―	歴史学	大塚
29	2015HA109	佐野 真侑美	篠島の観光の現状と展望	文化人類学	大塚
30	2015HA150	塚田 柊	ロードバイクに関する研究 ロードバイクの魅力とマナーについて	文化人類学	大塚
31	2015HA152	鶴飼 芽衣	黒曜石研究の現状とその展望	考古学	大塚
32	2015HA154	漆原 弘奈	アメリカ刑事ドラマなどに見る女性主人公の活躍	文化史	大塚
33	【氏名非公開】		日本の味噌―味噌から日本の食卓を考える―	文化人類学	大塚
34	2015HA159	山田 菜	日本における手編みとその可能性	考古学	大塚
35	2015HA030	堀 志織	七夕の文化的歴史変遷	文化人類学	後藤
36	2015HA034	今泉 友希	俗化したフェティシズムについての人類学的考察	文化人類学	後藤
37	2015HA041	伊藤 春緒	日本人と犬	文化人類学	後藤
38	2015HA054	菊田 翔	鉄と人類	文化人類学	後藤
39	2015HA056	岸江 勝也	西遊記の多面性	文化人類学	後藤
40	2015HA081	長坂 香澄	神格化した『鳳凰』の持つ文化的背景	文化人類学	後藤
41	2015HA093	丹羽 諒	洪水からみる神話	文化人類学	後藤
42	2015HA113	澤田 佳宏	星の見方の差	文化人類学	後藤
43	2015HA118	新貝 真由	伊勢市おはらい町から見る地域活性化について	人類文化学	後藤
44	2015HA126	鈴木 寿奈	地域・時代から見る河童のイメージ	文化人類学	後藤
45	2015HA128	鈴木 紗貴	ことばと色	文化人類学	後藤
46	2015HA133	高津 遼	日本は難民とどう向き合うか?	文化人類学	後藤
47	2015HA019	浜野 茜	描くことについて	文化人類学	坂井
48	2015HA023	飛田 渚	新しい大仏について	文化人類学	坂井
49	2015HA040	伊藤 亜衣	アクセサリーの役割について―アンケート調査から現代社会のアクセサリーの意味を探る―	文化人類学	坂井
50	2015HA042	伊藤 実麻	人間はどのように他人と空間を共有しているか	文化人類学	坂井
51	2015HA055	木村 将宏	スーパーの食品と色使い―商品の色使いから見えること―	文化人類学	坂井
52	2015HA058	小松 竜也	日常生活における呪術意識	文化人類学	坂井
53	2015HA060	近藤 紫布	戦中から戦後のプロパガンダの変遷とその根源	文化人類学	坂井
54	2015HA066	前川 ななみ	形のない信仰についての研究	文化人類学	坂井
55	2015HA068	松浦 花佳	正書法の選択	文化人類学	坂井

2018年度研究プロジェクト題目一覧

	学生番号	氏名	題目	分野	指導教員
56	2015HA095	緒方 春樹	日本における「空気」という存在について	文化人類学	坂井
57	2015HA114	関戸 広崇	座席での暗黙のルール	文化人類学	坂井
58	2015HA121	副島 歌奈子	怖い話について	文化人類学	坂井
59	2015HA132	高越 圭人	エマニュエル・レヴィナスの思想	哲学	坂井
60	2015HA137	田牧 亮馬	自分とは何か? — 社会の要求と自己意識から見る —	社会人類学	坂井
61	2015HA140	田中 野々華	写経から考える人々の信仰心	文化人類学	坂井
62	2015HA162	山川 奈々	ポケットについて	文化人類学	坂井
63	2015HA031	星野 朱音	仏教は臓器移植を擁護するか—「捨身飼虎」に見る臓器移植の倫理—	哲学	坂下
64	2015HA051	金子 美濃里	末期患者の安楽死の生命倫理的考察——積極的安楽死の倫理的な承認——	哲学	坂下
65	2015HA061	栗本 椎悠香	伊勢湾沿岸部漁村における念仏講の変化に関する人類学的考察——篠島・国崎による比較から——	文化人類学	坂下
66	2015HA104	大関 優理	医療資源の再分配問題—臓器移植を例に考える—	哲学	坂下
67	2015HA115	関谷 真生子	教育学者たちの学説からみた本当の生きる力とは	哲学	坂下
68	2015HA138	田中 千尋	日本における脳死臓器移植に関する倫理的考察	哲学	坂下
69	2015HA157	若原 千華	「生命の質」を理由とした治療停止の倫理的正当性に関する考察	哲学	坂下
70	2015HA064	LIU Jiaqing	ライブニッツの空間論について—ライブニッツとクラーク(ニュートン)の論争における時間と空間	哲学	谷口
71	【氏名非公開】		ハノイ旧市街における近代化と伝統文化の共存	文化人類学	宮沢
72	2015HA009	荒木 優	中国の水上居民	文化人類学	宮沢
73	2015HA017	古川 史苑	郡上おどりにみる伝統文化の継承	文化人類学	宮沢
74	2015HA021	早川 南	トマーシュ・ガリグ・マサリクとチェコ人のアイデンティティ	文化人類学	宮沢
75	2015HA022	林 杏香	韓国から見た日本の文化、日本から見た韓国の文化	文化人類学	宮沢
76	【氏名非公開】		日本の社会変動と大衆の求めるヒーロー像	文化人類学	宮沢
77	2015HA047	加田 心	愛知県豊田市における多文化共生政策と在日インド人の生活の課題	文化人類学	宮沢
78	2015HA088	成田 有希菜	フィリピン人のナショナリズム形成—フィリピン革命と宗教・言語に注目して—	文化人類学	宮沢
79	2015HA090	仁部 有佑	柳田国男と日本型ナショナリズム	文化人類学	宮沢
80	2015HA100	奥田 大河	現代ネパールにおける生き神クマリの社会的役割について	文化人類学	宮沢
81	2015HA143	寺本 優花	日本における鉄道導入の役割～イギリスとの比較において～	文化人類学	宮沢
82	2015HA147	坪井 瑞希	服飾から見た江戸文化の変遷について	文化人類学	宮沢
83	2015HA172	湯屋 秀捷	宮古島島尻のパーントゥブナハ行事—担い手の視点から—	文化人類学	宮沢
84	2015HA173	東 明奈	靖国神社の系譜とアジア諸国の見解について	文化人類学	宮沢
85	2015HA008	荒木 正寛	機能主義と都市計画	科学文化論	横山
86	2015HA010	浅野 瑛美子	都市計画における中心回帰	科学文化論	横山
87	2015HA025	日美 江未花	ジャポニズムと現代	科学文化論	横山
88	2015HA069	馬渡 香穂	マス・ツーリズムと観光	科学哲学論	横山
89	2015HA116	柴山 知大	江戸の洋風画と明治の洋画	科学文化論	横山
90	2015HA129	鈴木 悠平	格差と承認論	科学文化論	横山
91	2015HA136	武田 拓也	現代における「正戦論」の適用可能性	哲学	横山
92	2015HA156	若林 幸奈	家族の崩壊とリスク社会	科学文化論	横山
93	2015HA165	山内 南美	学歴社会と大学	科学文化論	横山
94	2014HA121	佐野 楓	〈子供〉と〈教育〉の誕生について～中世ヨーロッパにおける家庭の変化～	文化人類学	吉田
95	2015HA003	安藤 ちひろ	ヴィクトリア朝期イギリスにおける白いウエディングドレスの定着	文化人類学	吉田
96	2015HA005	青木 里帆	現代の刺青について	文化人類学	吉田
97	2015HA028	廣田 佳南	生きている世界遺産	文化人類学	吉田
98	2015HA049	各務 初音	博物館展示の変遷と今後	文化人類学	吉田
99	2015HA062	榊田 萌美	消費されるキャラクター—「萌え」の描かれ方の変遷—	文化人類学	吉田
100	2015HA070	三上 彩	マクドナルド化	文化人類学	吉田
101	2015HA082	永田 美織	地域ブランド「西尾の抹茶」	文化人類学	吉田
102	2015HA083	永田 さやか	The impacts of the local development in Sakushima	文化人類学	吉田
103	2015HA092	西澤 美佳	地域社会の持続可能性	文化人類学	吉田
104	2015HA119	内山 萌々子	性と現代社会	文化人類学	吉田
105	2015HA125	須藤 篤子	ゴジラ映画に表象されるもの—核・戦争・災害—	文化人類学	吉田
106	2015HA155	和田 絵莉子	アイドル声優イベントにおける空間の多義性	文化人類学	吉田
107	2015HA166	横井 彩夏	観光がホスト社会に与える影響	文化人類学	吉田
108	2015HA168	米津 鷹	パンク	文化人類学	吉田

2018年度研究プロジェクト題目一覧

	学生番号	氏名	題目	分野	指導教員
109	2014HA032	星野 由紀	アンデスにおける宗教観と生活様式の変化	文化人類学	渡部
110	2015HA039	石川 友美子	アンデス先住民の牧畜文化	文化人類学	渡部
111	2015HA046	可知 慶一郎	アステカの神話と人身供犠	考古学	渡部
112	2015HA057	小松 華連	植民地時代ラテンアメリカの建築と変遷	考古学	渡部
113	2015HA059	近藤 千聖	新世界の作物の歴史的展開—ジャガイモを中心に—	文化人類学	渡部
114	2015HA067	松原 一聖	アステカの人々の世界観と暮らし	考古学	渡部
115	2015HA079	村瀬 海斗	ブラジルにおける人種混濁と人種差別	文化史	渡部
116	2015HA080	村瀬 健人	ラテン・アメリカにおける奴隷の身分	考古学	渡部
117	2015HA089	成塚 文野	アンデス地方の女性—インカ支配期からスペイン植民地期にかけて	考古学文化史	渡部
118	2015HA145	戸田 樹	中南米諸国からアメリカ合衆国への移民について	文化史	渡部
119	2015HA171	湯浅 七海	マヤ文明古典期における王朝文化と人々の生活	考古学	渡部
120	2014HA175	岡本 英之	考古資料が示唆する西王母像	考古学	西江